



令和元年度進行管理・評価シート
 小田原市歴史的風致維持向上計画(平成23年6月8日認定)
 (最終変更平成31年3月29日)

口進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画実施に向けた推進体制の強化	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭保存整備活用事業	3
2 松永記念館整備活用事業	4
3 皆春荘整備保全活用事業	5
4 歴史的風致形成建造物等整備事業	6
5 史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業	7
6 八幡山古郭・総構整備事業	8
7 案内板等整備事業	9
8 小田原文学館整備活用事業	10
9 旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)整備保全活用事業	11
10 国道255号電線地中化事業	12
11 銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	13
12 景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業	14
13 かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上	15
14 小田原用水保全事業	16
15 市道0026横断線地中化事業	17
16 祭礼等保存継承事業	18
17 歴史的風致形成建造物等活用事業	19
18 地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ	20
19 街かど博物館活用事業	21
20 なりわい交流館活用事業	22
21 伝統的工芸品産業産地組合助成事業	23
22 小田原散策マップ等作成事業	24
23 レンタサイクル事業	25
24 民俗芸能保存支援事業	26
25 無形民俗文化財記録作成事業	27
26 文化財の総合的把握・育成支援事業	28
27 伝統行事・伝統文化啓発事業	29
28 職人育成研修等推進事業	30
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の指定	31
2 文化財の修理(整備を含む)及び防災	32
3 文化財の保存・活用の普及及び啓発	33
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 早雲公五百年忌シンポ 小田原北条氏とその城郭 ほか	34
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 小田原城天守閣の魅力向上	35
2 観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	36
3 木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)	37
4 歴史的風致に関する意識啓発	38
5 歴史まちづくりの効果	39
口法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	40

評価軸①-1 組織体制	
項目	評価対象年度 令和元年度 現在の状況
計画実施に向けた推進体制の強化	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	計画変更や事業実施に係る懸案事項については、「小田原市歴史まちづくり協議会」において協議し、推進にあたる。行政内部の進捗管理を行うため「小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議」を組織し、都市整備・景観・文化財・観光等の分野が横断的かつ効果的な取組が行える仕組みとする。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
・小田原市歴史まちづくり協議会については、小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定に向け、平成29年3月31日付けの「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律運用指針」の一部改正を踏まえ、建造物等だけでなく活動に係る歴史調査等を進めて行く観点から、新たに民俗芸能の専門家も含め、4月1日付けで委員の委嘱を行った。これにより、学識経験者が3名となるため、委員の互選による会長又は副会長への選出を本協議会で承認できるよう、小田原市歴史まちづくり協議会規則を改正したうえで、第1回を5月に、第2回を令和2年2月に開催し、現計画の推進と次期計画策定に向けて協議を行った。	
・小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議については、各事業・関連事業などの進捗状況や重点的な取組、新たな取組に係る協議を行うため、第1回を4月に開催した。また、本推進会議においては、次期計画の策定を見据え、事業の推進及び調整等を着実に進めていく必要があることから、要綱に基づく推進会議とするため、新たに小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議設置要綱を制定したうえで、第2回を12月に開催した。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
○小田原市歴史まちづくり協議会	
 <p>第1回 協議会の様子</p>	第1回(令和元年5月13日開催) 1 委嘱式 2 協議事項 (1)会長及び副会長の選出について 3 議題 (1)平成30年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて 4 報告事項 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画の変更の認定について(平成30年度) (2)令和元年度小田原市歴史的風致維持向上計画の事業予定等について (3)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)について
 <p>第2回 協議会の様子</p>	第2回(令和2年2月3日開催) 1 議題 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画の変更について ア 歴史的風致形成建造物の指定について (小田原宿なりわい交流館(旧角吉)、nico cafe(青木家住宅)) イ その他の変更内容 2 報告案件 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画に基づく事業等の進捗について(中間報告) (2)小田原市歴史的風致維持向上計画の最終評価シートについて (3)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定について (4)歴史的建造物利活用計画策定業務の進捗について(中間報告)
○小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議	
第1回(平成31年4月15日開催) 1 議題 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議設置要綱の制定について (2)小田原市歴史まちづくり協議会規則の改正について (3)平成30年度小田原市歴史的風致維持向上計画の進行管理・評価シートについて (4)平成31年度小田原市歴史的風致維持向上計画の事業予定等について 2 報告案件 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)について (2)平成30年度歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランについて	
第2回(令和元年12月25日開催) 1 議題 (1)令和元年度の小田原市歴史的風致維持向上計画に基づく取組について ア 計画変更について イ 歴史的風致形成建造物の指定について ウ 進行管理・評価シートについて (2)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定体制について (3)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定スケジュールについて 2 報告案件 (1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の検討のポイントについて (2)小田原市歴史的風致維持向上計画の最終評価シートについて (3)歴史的建造物利活用計画策定業務の進捗について(中間報告) (4)令和3年度以降の街なみ環境整備事業活用に向けた事業調書作成について	

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策	
項目	評価対象年度 令和元年度 現在の状況
景観計画の活用	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
歴史的風致維持向上計画の重点区域はすべて都市計画区域内であり、今後とも都市計画制度等を積極的に活用し、重点区域として相応しい良好な市街地環境の形成を進める。 また、景観計画に示された景観形成方針と類型別・構造別の方針に配慮すべき区域内に含まれるほか、当該計画における3つの拠点型重点区域を含むため、これら景観施策と積極的な連携を図ることとする。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
<ul style="list-style-type: none"> 平成18年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【景観届出件数】 H29年度:82件(うち、小田原城周辺地区10件、小田原駅周辺地区8件、国道1号本町・南町地区13件、その他51件) H30年度:72件(うち、小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区6件、国道1号本町・南町地区16件、その他45件) R1年度:49件(うち、小田原城周辺地区5件、小田原駅周辺地区9件、国道1号本町・南町地区4件、その他31件) 【景観評価件数】 H29年度:6件(広域交流施設、いろいろ別館の改修に係る意見) H30年度:7件(市民ホール、ラスカ駐車場、広域交流施設、かまぼこ通り地区の景観計画等に係る意見) R1年度:8件(広域交流施設、市民ホール整備、西口駅前再開発ビルに係る意見等) 景観計画重点区域内の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 【修景実施件数】 H29年度:2件(いろいろ別館/国道1号本町・南町地区、飛鳥画廊/銀座・竹の花周辺地区) H30年度:3件(池田邸/国道1号本町・南町地区、花政本店、丸江/銀座・竹の花周辺地区) R1年度:2件(熊金商店/銀座・竹の花周辺地区、黒後邸/かまぼこ通り周辺地区) 平成21年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 【屋外広告物届出件数】 H29年度:258件(うち、小田原城周辺地区0件、小田原駅周辺地区15件、国道1号本町・南町地区4件、その他239件) H30年度:348件(うち、小田原城周辺地区0件、小田原駅周辺地区23件、国道1号本町・南町地区8件、その他317件) R1年度:277件(うち、小田原城周辺地区2件、小田原駅周辺地区16件、国道1号本町・南町地区3件、その他256件) 【景観計画重点区域の指定】 平成30年度は、「かまぼこ通り地区」の景観計画重点区域の指定に向けて、説明会を開催し、地元住民と意見交換を行った。 令和元年度は、令和2年1月30日に開催された都市計画審議会でもかまぼこ通り地区の景観形成基準等の(案)を報告したうえで、2月中旬から、地元住民等を対象に説明会を開催した。 【かまぼこ通り周辺地区の景観計画重点区域の指定に係る住民説明会実施概要】 日 時:令和2年2月10日、12~14日(計4日間) 場 所:第17、18、23、24区公民館、蒲鉾会館(計5回) 参加人数:約50名 【定量的評価】 拠点型重点区域別の景観届出件数 R1年度:小田原城周辺地区 5件、小田原駅周辺地区 9件、国道1号・本町南町地区 4件 計18件 ※うち景観形成修景費補助金の活用 1件(黒後邸) 	
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
状況を示す写真や資料等	
<ul style="list-style-type: none"> ○重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの) 「12.景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業(p.14参照)」 ○新たに景観計画重点区域の指定を検討している区域(かまぼこ通り地区) 	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
清閑亭保存整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 国登録有形文化財の歴史的建造物である清閑亭は、建物の老朽化が著しいため、補修・修理を実施し、観光客・市民の憩いの場、旧別邸等を巡る回遊ネットワークの拠点、別邸文化を発信する施設として整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・民間団体の自由な発想を生かすため、NPO法人へ活用委託し、施設に関連したイベントやまち歩きを実施した。
- ・回遊性の拡大に向け、引き続き、近隣の歴史的風致形成建造物(松永記念館、小田原文学館等)と連携したポスター等の発行、各施設を紹介する葉書の作成やスタンプラリーを、実施した。
- ・神奈川県と民間の協働事業である「湘南邸園文化祭」へ引き続き参加し、市外への積極的な情報発信をした。
- ・関連事業として、小田原城址公園から清閑亭までの散策路として歩道整備を行っている。

【定量的評価】

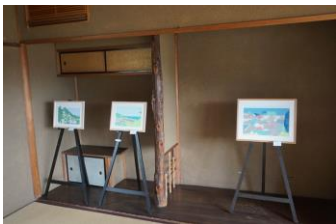
平成27年度入館者	29,007人	事業数	106事業	参加者数	16,785人
平成28年度入館者	33,201人	事業数	139事業	参加者数	20,719人
平成29年度入館者	33,102人	事業数	106事業	参加者数	27,849人
平成30年度入館者	25,712人	事業数	124事業	参加者数	21,276人
令和元年度入館者	21,421人	事業数	123事業	参加者数	20,106人(3月9日から休館)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

<活用>

○清閑亭でのイベント(講演会、まち歩き、展示会など)



小田原たてもの百景
たなかきよおこ絵画展
(平成31年4月13日～4月28日)
来館者数:1,334人



IMANOMA展
(令和元年5月11日～26日)
来館者数:1,637人



朝の別邸 ヨガ教室
(令和元年7月21日)
参加者数:12人

○回遊性を高める取組



松永記念館、清閑亭、小田原文学館の三館で構成されている「小田原邸園文化ネットワーク」による「おだわら邸園さんぽ」の作成

○神奈川県の協働事業への参加



湘南邸園文化祭
パンフレット



おだわら雛の道中
(令和2年2月8日～3月8日)
来館者数:2,002人

評価軸③-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
松永記念館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 昭和前期に建てられた歴史的建造物である松永記念館については、敷地内に所在する歴史的建造物の修理及び庭園の修景整備等を一体的に実施し、観光客・市民の憩いの場、回遊ルートの拠点とする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<整備>
 ・平成28年度に寄贈を受けた無住庵については、松永記念館への移築に向け、平成30年度に解体保管工事を実施し、部材調査結果や当時の写真等も踏まえて復元実施設計を行った。
 ・令和元年度は、実施設計に基づいた移築復元工事を行い、また、松永記念館の庭園等を一体的に整備するため、松永記念館庭園整備等実施設計を行った。

<活用>
 ・松永記念館関係者からなるボランティア団体により、庭園呈茶を定期的に行っている。(令和元年度:12回開催)
 ・紅葉が見ごろな時期に板橋地区周辺と一体となったイベント「夢見遊山いたばし見聞楽」を実施。
 ・松永記念館近くにある寄木細工の工房OTAMOKKO(太田木工)と連携した寄木細工体験イベントを実施。
 ・市民団体が中心となり、小田原にゆかりのある茶人・益田純翁を顕彰する「純翁茶会」を開催。

【定量的評価】

来館者数 平成25年度 22,905人、平成26年度 22,086人、平成27年度 25,918人、平成28年度 19,878人
 平成29年度 22,461人、平成30年度 22,342人、令和元年度 18,304人(3月4日から休館)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備>
 ○無住庵の移築



移築復元工事



市民を対象とした見学会

○松永記念館庭園整備等実施設計



<活用>

○夢見遊山いたばし見聞楽(令和元年11月3日)



評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
皆春荘整備保全活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・地方創生推進交付金・市単独事業		
計画に記載している内容	皆春荘を適切に保全のうえ、主屋、門、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺にある松永記念館、古稀庵、共寿亭(旧山月)とともに、周辺散策の休息拠点や交流施設として整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<整備> ・皆春荘は、元首相清浦奎吾により建てられ、その後、元老山縣有朋の別邸古稀庵の別庵として編入された。古稀庵の多くは解体・移築され、当時のまま残る建物は市内で皆春荘のみである。小田原の別邸文化を伝える遺構として、着実な保全を図るため、平成30年度に公有化した。 ・板橋散策のレストスペース(公園的機能)として、歴史・文化に触れようと訪れた観光客が回遊しやすい環境を整えるため、令和3年度からの活用に向け、令和元年度については、耐震診断及び耐震等改修実施設計を実施している。(令和2年7月末まで) <活用> ・皆春荘の所在地をはじめ、歴史・ゆかりのある人物や建物の情報発信と合わせ、回遊性の促進を図るため、近隣の歴史的建造物を紹介するチラシやパネル等を作成し、一般公開(木曜日～日曜日及び祝日(7～9月は土・日・祝日) 午前11時～午後3時)を行っている。 ・一般公開については、庭園及び玄関の範囲とし、臨時職員による来訪者への対応(簡単なガイド含む)を実施している。 ・利活用の一例として、現代アート展を開催した。 【定量的評価】 平成30年度 開館日: 76日 入館者数: 2,322人 令和元年度 開館日: 132日 入館者数: 1,990人(3月2日から休館)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
<整備>   <p style="text-align: right;">山縣有朋自筆の書</p> <p> 耐震診断及び耐震等改修実施設計</p>			
<活用>    <p style="text-align: right;">紅葉に囲まれた皆春荘</p> <p>皆春荘を紹介するチラシ</p> <p>日本・ポーランド現代美術展 令和元年9月19日～29日 来館者数 140人</p>			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 重点区域内にある歴史的建造物を対象に、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理・復原に対する助成を行うことにより、歴史的建造物の保全・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・重点区域における歴史的建造物は、歴史的風致の維持及び向上を図る上で必要かつ重要であり、建造物の意匠、技術が優れ、歴史や地域性、希少性などの観点から価値の高いものなどを歴史的風致形成建造物に指定し、保存・活用を図っている。
 ・歴史的風致形成建造物については、本市所有の「小田原宿なりわい交流館(旧角吉)(本町)」及び所有者の同意のうえ、「nico cafe(青木家住宅)(栄町)」の2件を令和2年2月に指定した。
 ・「nico cafe(青木家住宅)(栄町)」については、歴史的風致形成建造物改修整備費補助金を活用し、1階及び2階の建具の修理・復原を実施した。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物の指定件数

- 平成24年度 4件(松永記念館、清閑亭、小田原文学館本館、同別館)
- 平成27年度 2件(岡田家住宅、皆春荘)
- 平成28年度 2件(無住庵(松永記念館への追加)、旧内野醤油店)
- 平成29年度 2件(籠清、江嶋)
- 平成30年度 1件(えじまや(旧江嶋屋陶器店))
- 令和元年度 2件(小田原宿なりわい交流館(旧角吉)、nico cafe(青木家住宅))
- 計 13件(うち既存指定への追加1件含む)

歴史的風致形成建造物の助成件数

- 平成30年度 2件(江嶋、えじまや(旧江嶋屋陶器店))
- 令和元年度 1件(nico cafe(青木家住宅))
- 計 3件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物の指定 2件



小田原宿なりわい交流館(旧角吉)(本町)

・「宿場町・小田原の水産加工業にみる歴史的風致」に該当する。
 ・昭和7年建築。木造2階建て、出桁造り、切妻屋根(平入り)
 ・平成13年に「小田原宿なりわい交流館」として整備し、開館。市民や観光客の「憩いの場」として、誰でも立ち寄れる「お休み処」等として活用している。



nico cafe(青木家住宅)(栄町)

・「城下の伝統工芸にみる歴史的風致」に該当する。
 ・昭和3年建築。2階建て、出桁造り、切妻屋根(平入り)
 ・仕口には、「組手腰」と呼ばれる伝統工法が用いられている。
 ・もとは建具屋の店舗であり、現在は、「nico cafe」

○歴史的風致形成建造物改修整備費補助金 1件【対象物件:nico cafe(青木家住宅)】



改修前



改修後

○主な工事内容
 ・1階正面の建具を、当時の位置に復原した。
 ・あわせて、2階正面の建具は劣化が激しく、安全性が確保できていなかったため、修理を実施した。

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
史跡小田原城跡本丸・二の丸整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年度～令和2年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 「史跡小田原城跡本丸・二の丸整備基本構想」に基づき、史跡整備や回遊ルート整備を進め、市街地の歴史的環境の改善や本市固有の歴史的な景観の保全をする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・御用米曲輪については、平成22年度の整備実施設計に基づき、平成25年度から北東・北西土塁の形状復元や地被植栽、駒寄の設置等の修景整備工事を行い、平成30年度には、北西土塁の修景整備工事が完了した。
- ・令和元年度は北東土塁の修景整備工事を実施した。(令和2年7月頃に完了予定)
- ・八幡山古郭・総構等を含めた史跡小田原城跡・全体の保存・管理・活用・整備については、「史跡小田原城跡保存活用計画」にその方針を示していく(令和2年度末に策定予定)。
- ・城内樋園邸の公有化を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○修景整備工事

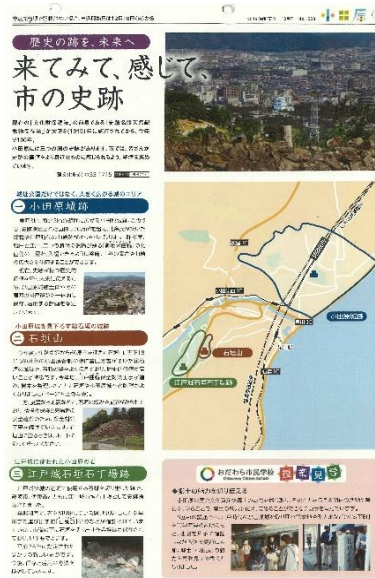


北東土塁(施工前) 令和2年度7月頃完了予定



城内地区(公有化)

○史跡整備の周知



市広報掲載記事(令和元年12月)

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
八幡山古郭・総構整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成24年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金・市単独事業

計画に記載している内容 小田原のまち割りを規定している戦国時代の文化遺産として、順次、史跡小田原城跡の八幡山古郭及び総構の整備や史跡小田原城跡を説明するためのガイダンス施設整備を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

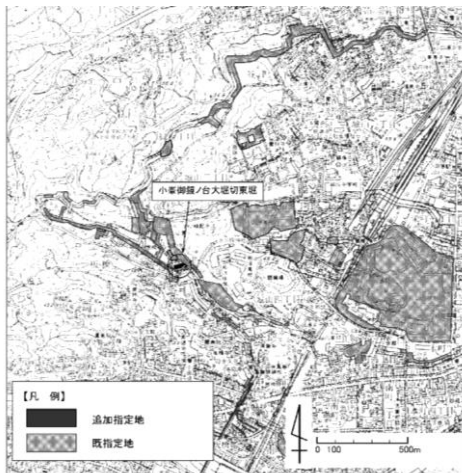
- ・「史跡小田原城跡八幡山古郭・総構保存管理計画」に基づき、史跡指定を進めるとともに、公有化を図っている。令和元年度は、小峯御鐘ノ台大堀切東堀の一部を公有化した。
- ・史跡小田原城跡の管理については、平成29年度から小田原城総合管理事務所へ移管し、八幡山古郭・総構についての一体的な維持管理体制を整え、土塁や堀の形状が分かるよう草刈などを行った。
- ・民間団体主催による総構を巡るツアーなどを実施した。
- ・小田原城天神山回遊路の整備実施設計を実施した。
- ・本丸・二の丸等を含めた、史跡小田原城跡全体の保存・管理・活用・整備については、「史跡小田原城跡・保存活用計画」にその方針を示していく(令和2年度末に策定予定)。
- ・小田原城総構のパンフレットを作成し、説明板を設置するなどの環境整備を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○民有地の史跡指定



位置図



小峯御鐘ノ台大堀切東堀(公有化)

○総構を巡るツアーの実施後援

大外郭の会主催ウォーキングイベント
小田原城総構を一周あるこう!!



小田原城跡(天守台)は、1590年、天守櫓を目前にした豊臣秀長の小田原城跡の跡に建設された。全長約1.5km、高さ約10mの土塁を巡るウォーキングイベントを開催し、歴史を学ぶ機会を提供しています。参加費無料。申込は下記に申し込んでください。参加費: 大外郭の会事務局 〒250-0810 静岡県小田原市伊豆 2-15-30

日時: 令和元年11月2日(土) 少雨開催(雨天中止)
 時間: 9:00~17:00まで
 集合場所: 小田原駅西口北東角(公衆トイレ)
 案内人: 山本道正(小田原市)
 ●交通: JR東海道線小田原駅西口徒歩10分
 ●駐車場: 小田原市立中央公民館(小田原市立中央公民館) 2-15-30
 ●お問い合わせ: 0465-24-0254(メール: cabbone@city.nagano.jp)
 ●主催: 小田原市(小田原市立中央公民館) 協賛: 小田原市教育委員会
 ●協力: 小田原市教育委員会、小田原市立中央公民館、小田原市立中央公民館



○小田原城総構の説明板及びパンフレット

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物等について、案内板や情報板の新設・更新を実施する。市民や来訪者が建造物等への理解を深めることができるとともに、歴史的風致の拠点を巡る回遊性の高いネットワークが形成される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和元年度については、これまでに設置した案内板の設置状況を把握するため、ウォーキングタウン小田原散策マップ(東部、中央、西部)を基に全11コース中、6コースの踏査による調査を行った。
- ・調査結果に基づき、案内板等の整備方針を決定し、中央5箇所、東部2箇所の整備を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまでに相当数の案内板が設置された。 今後は、さらなる回遊性向上のため、既存の案内サインの維持管理や効果的な配置に向けた検討などを重点的に行っていく予定である。

状況を示す写真や資料等

○踏査を行った案内板



○案内板の整備



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
小田原文学館整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 国登録有形文化財である小田原文学館(本館・別館)は、屋根の改修を実施するとともに、周辺の歩行者空間の整備等と併せて、施設内に新たな便益施設を整備し、まちなかを回遊する際の休憩施設としての機能を付加する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成25・26年度に小田原文学館本館・管理棟及び白秋童謡館の改修計画を策定し、平成28年度の実施設計に基づき、平成29・30年度に白秋童謡館の耐震補強、劣化部分の補修、銅板屋根の葺替工事を実施した。
- ・また、平成30年度には小田原文学館改修等工事に伴う実施設計及び小田原出身・ゆかりの文学者らの文学碑への理解を深めるための文学碑説明板を設置した。
- ・令和元年度については、平成30年度の実施設計に基づき、小田原文学館本館主体部の劣化部分の補修等・同管理棟の耐震補強の工事を実施した。

【定量的評価】

小田原文学館 来館者数

平成23年度:9,121人、平成24年度:9,578人、平成25年度:8,068人、平成26年度:8,501人、平成27年度:10,012人、平成28年度:8,834人、平成29年度:7,823人、平成30年度:8,585人、令和元年度:6,211人(3月4日から休館)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

<整備> ○小田原文学館本館主体部の改修

改修前






改修中



改修後



評価軸③-9 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
旧松本剛吉別邸(岡田家住宅)整備保全活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)・地方創生推進交付金・市単独事業		
計画に記載している内容	旧松本剛吉別邸については、適切な保全のうえ、主屋、茶室、庭園の修景整備等を一体的に実施する。また、周辺の別荘・別邸文化を発信する交流施設として整備することにより、市民や観光客がより容易に歴史的風致に触れることができるような環境整備や周辺地域の回遊性の向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p><整備></p> <ul style="list-style-type: none"> 旧松本剛吉別邸は、主屋と別棟の茶室(雨香亭)・待合等の建物と、築山や水景を伴う庭園から成り、茶道での交流が盛んであった近代小田原の別邸文化を伝える貴重な遺構として、着実な保全を図るため、平成30年度に公有化した。 小田原駅・小田原城から、かまぼこ通り、西海子小路、箱根板橋駅周辺、小田原漁港周辺地区などをつなぐ位置に立地していることから、観光交流を促進する拠点施設とし、令和3年度からの活用に向け、令和元年度については、主屋と茶室の耐震診断及び耐震等改修実施設計を実施している。(令和2年7月末まで) <p><活用></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から引き続き、庭園及び茶室の一般公開を行った。(木曜日～日曜日及び祝日(6月～9月は土・日・祝日)午前11時～午後3時) 令和元年度については、ローカル・ジャパンによる外国人向け抹茶体験など、利活用の実証実験(催し物)を実施した。 <p>【定量的評価】</p> <p>平成28年度 開館日:172日 入館者数:7,005人 平成29年度 開館日:203日 入館者数:9,538人 平成30年度 開館日:181日 入館者数:6,070人 ※8月は、庭園整備等のため休館とした。 令和元年度 開館日:128日 入館者数:5,601人(3月2日から休館)</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
<p><整備></p>  <p style="text-align: center;">西海子小路</p> <p> 耐震診断及び耐震等改修実施設計</p> <div style="float: right; margin-top: 10px;">  <p>旧松本剛吉別邸を 紹介するチラシ</p> </div>			
<p><活用(実証実験)></p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>ローカル・ジャパン抹茶体験 令和元年9月3日 参加者 15名</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>松本剛吉を知っていますか 令和元年11月21日～24日 来場者 221名</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>本ときどき茶々 令和元年11月30日～12月8日の土・日 来場者 772名</p> </div> </div>			

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
国道255号電線地中化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成22年度～令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路事業(基幹事業))

計画に記載している内容 国道255号電線類地中化全体計画のうち、旧甲州道に位置する銀座・竹の花周辺地区において、電線類地中化を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

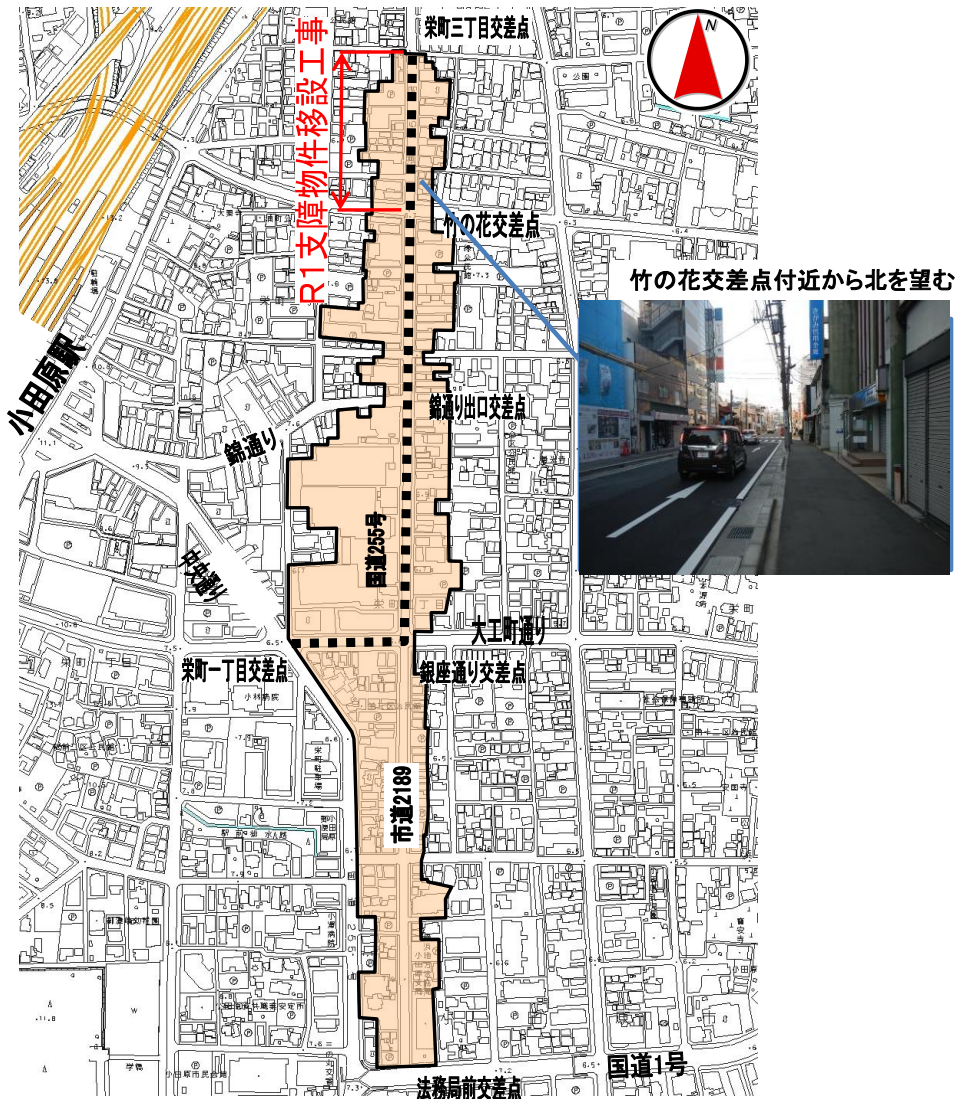
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成23～29年度 電線共同溝工事等を実施
- ・平成29年度 栄町一丁目交差点～竹の花交差点間 事業完了
- ・平成30年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間西側歩道 支障物件移設工事完了(平成30年度計画分)
- ・令和元年度 竹の花交差点～栄町三丁目交差点間東側車道 支障物件移設工事完了(令和元年度計画分)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
歩道のデザイン等、地元調整を充分行い、景観上望ましいものに誘導していく必要がある。栄町3丁目交差点から北側についても、実施設計において、照明灯の位置と共に、街路樹の植栽などを調整する必要がある。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
銀座・竹の花周辺地区における街なみ環境の向上	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業

計画に記載している内容 旧甲州道沿いに位置する銀座・竹の花周辺地区において、地区街づくり基準に基づく景観修景への助成、案内板の設置等を行い、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会は、旧甲州道沿道の「歴史や文化やなりわいを掘り起こした空間」と「自然素材等を活用した本物志向の活力ある街なみづくり」を地区街づくりの目標に掲げ、街なみ整備を進めている。
- ・「銀座・竹の花周辺地区街づくり基準」に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対して、「街なみ環境整備事業補助金」により経費の一部を助成し、景観の形成を図っている。また、必要に応じて「銀座・竹の花周辺地区街づくり協議会」で協議し、良好な景観形成に向けた取組を進めている。
- ・「10.国道255号電線地中化事業」(p.12参照)による電線類の地中化、歩道的美舗装化、街路樹の植栽により、当該地区の街なみに変化が生まれた。
- ・南街区については、電線類地中化(市道)に伴うアーケード撤去に伴い、当該地区の修景に係るニーズが高まることが見込まれることから、修景ニーズを的確に捉えつつ、今後は、景観計画における重点区域化に向け、地区街づくり協議会と連携しながら、景観形成の促進を図っていく。

【定量的評価】

街なみ環境整備事業補助件数

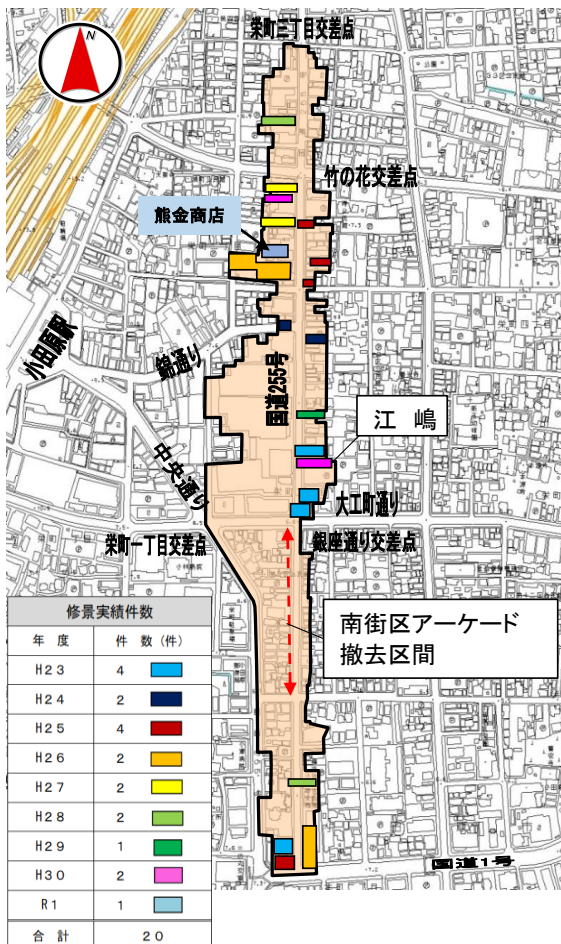
平成23年度:4件、平成24年度:2件、平成25年度:4件、平成26年度:2件、平成27年度:2件、平成28年度:2件、平成29年度:1件 平成30年度:2件、令和元年度:1件

歴史的風致形成建造物補助件数

平成30年度:1件(江嶋)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



○歴史的風致形成建造物(江嶋)



外観

内観

○街なみ環境整備事業補助金 熊金商店(令和元年度)



修景前



修景後

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
景観計画重点区域における景観形成修景費補助事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成30年度～令和2年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業
計画に記載している内容	景観計画における3つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)又は当該区域への移行に取り組む区域(かまぼこ通り地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・拠点型重点区域又は当該区域への移行に取り組む区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。

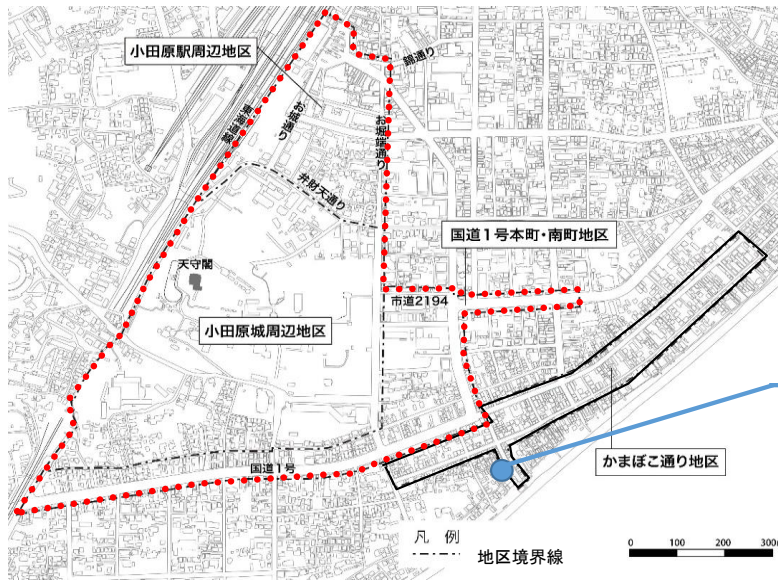
【定量的評価】

景観形成修景費補助件数 平成30年度:1件(国道1号本町・南町地区)
令和元年度:1件(かまぼこ通り地区)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域(拠点型重点区域)



- 景観計画重点区域
(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)
- 景観計画重点区域への移行に取り組む区域
(かまぼこ通り地区)

○景観形成修景費補助事業

黒後邸(改築)外観修景工事

- ・拠点型重点区域への移行に取り組む「かまぼこ通り地区」に該当する。
- ・小田原宿なりわい交流館の南に位置し、建物は、景観計画の色彩基準に適合している。
- ・補助対象の工事については、令和2年1月に工事着手し、令和2年3月に完了した。



黒後邸(かまぼこ通り地区) 改修前



黒後邸(かまぼこ通り地区) 改修後

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
かまぼこ通り地区における街なみ環境の向上			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成30年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)・市単独事業		
計画に記載している内容	小田原かまぼこ通り地区において、建築物等の修景整備に対する助成、歩車道の美装化や緑化、横断線の地中化等に取り組み、歴史文化やなりわいの感じられるまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成30年度については、市道2035の景観舗装工事及び横断線地中化工事委託を実施した。また、景観舗装の色彩については、地区まちづくり協議会(小田原かまぼこ通り活性化協議会)が目指すまちづくりの周知と併せて、地区住民からの意向を踏まえた色彩(ページュ)とした。 ・令和元年度については、市道2035の横断線地中化に向け、電線管理者と横断架空線の移設補償契約を締結し、地中管路への入線及び架空線の撤去を行った。また、市道2035の景観舗装工事として、みなし歩道部のカラー舗装整備を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

○工事箇所



○市道2035(横断架空線移設・景観舗装工事)



施工前



施行後

評価軸③-14
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
			現在の状況
小田原用水保全事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)		
計画に記載している内容	日本最古の上水道とされ、板橋地区が誇る歴史的風致の1つである小田原用水(板橋第一排水路)の保全(改修)及び用水路脇の道路(市道2367)の景観舗装を行い、歴史的なまちなみ景観の形成を促進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和元年度については、歴史的風致が色濃く残る板橋地区の重要な資源として相応しい整備のあり方を整理した上で、周辺環境、景観、生態系、親水性に配慮した保全方法(整備内容)を検討した。 【小田原用水保全基本計画策定業務委託(業務範囲:L=550m) 令和元年7月～令和2年3月】			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・沿線の用地協力が不可欠となり、莫大な事業費が見込まれる。 ・令和2年度に一部区間の保全工事(モデル事業)を実施し、事業の効果を検証する。		
状況を示す写真や資料等			
<p>○事業箇所</p> 			
<p>○小田原用水(板橋第一排水路)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>現況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>整備イメージ</p> </div> </div>			

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
市道0026横断線地中化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容 江戸時代に東海道筋であった市道0026において、地上を横断している電線類の地中化による景観整備を行い、歴史的なまちなみ景観の形成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

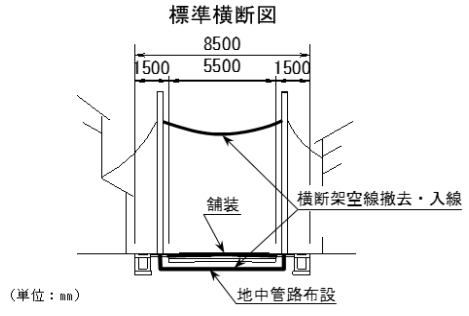
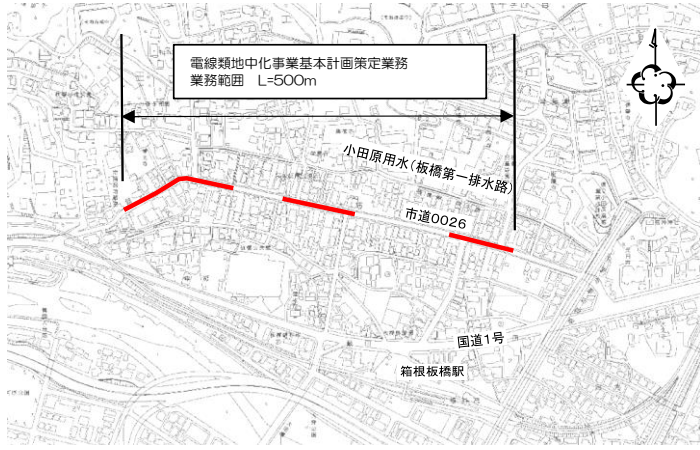
・令和元年度については、高質な道路空間の形成に必要な整備のあり方を整理した上で、占用企業者等との調整を行い、電線類地中化の手法等について検討した。

【市道0026電線類地中化事業基本計画策定業務(業務範囲:L=500m) 令和元年7月～令和2年3月】

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・令和2年度に一部区間の横断架空線を地中化し、事業の効果を検証する。

状況を示す写真や資料等

○事業箇所



○電線類地中化事業



現況



整備イメージ

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
祭礼等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成25年度～令和2年度
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容 祭礼等の伝統文化の保存継承のため、それらの活動のPR等を通じて、地域の伝統文化伝承の意識と担い手の育成などの効果を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和元年度については、寺山神社祭礼における鹿島踊り(県指定無形民俗文化財)、宗我神社祭礼における寿獅子舞(市指定無形民俗文化財)、多古白山神社等の祭礼における小田原囃子(県指定無形民俗文化財)、白髭神社祭礼における奉謝祭(市指定無形民俗文化財)について、市のホームページや市民ガイドに掲載する等、市でもPRを行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



「根府川寺山神社の鹿島踊り」
(令和元年7月14日)



「宗我神社祭礼における寿獅子舞」
(令和元年9月29日)



「白髭神社奉射祭」
(令和2年1月7日)

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
歴史的風致形成建造物等活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	地方創生推進交付金・市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致形成建造物等の維持管理や定期的な一般公開等の活用を進める法人等を支援し、回遊・交流拠点としての機能を高める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			

・歴史的風致形成建造物の「旧内野醤油店(板橋)」は、地域住民団体による、一般公開やイベントなどを実施した。また、職人育成研修等推進事業で修繕を行った「旧瀬戸米穀店(本町)」は、おだわら城町アートプロジェクトの一環として、現代アート展を実施した。

【定量的評価】

旧内野醤油店 平成29年度 開館日: 44日 入館者数: 899人 催事数: 14
 平成30年度 開館日: 46日 入館者数: 780人 催事数: 7 喫茶「武功庵」 21回(495人)
 令和元年度 開館日: 15日 入館者数: 192人 催事数: 9 喫茶「武功庵」 13回(277人)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○旧内野醤油店



「内野邸で楽しむ七夕の風情」開催の様子
 令和元年7月6日開催 参加者: 14人



喫茶「武功庵」
 隠居の間を活用し古民家カフェを月2回程度営業


○旧瀬戸米穀店



チラシ



おだわら城町アートプロジェクト
 「現代アート展」
 令和元年11月23日、24日、30日、12月1日開催
 来場者: 556名

評価軸③-18 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
地区まちづくりのための調査及び住民とのワークショップ		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的風致が色濃く残る板橋地区やかまぼこ通り地区において、歴史的環境にあった街なみ形成や景観に配慮したまちづくりの推進に向け、景観調査、住民とのワークショップによるルールづくり、協議会への組織化等の支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p><板橋・南町地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大窪地区まちづくり実行委員会及び十字地区まちづくり委員会については、「歴史・文化」をテーマとしたまちづくりを掲げており、地区内に残る貴重な歴史的・文化的資源を継承していくための勉強会を平成30年度に設立した。 ・令和元年度の勉強会については、行政における歴史的建造物活用エリアコーディネートプランや小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)等の取組を共有し、公民連携による歴史まちづくりの推進を図っている。 <p><かまぼこ通り地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)東日本鉄道文化財団の支援により、小田原かまぼこ通り活性化協議会が主体となり万祝を作製し、松原神社境内、脇谷商店、小田原宿なりわい交流館に各1着展示したほか、小田原宿なりわい交流館については試着用にも1着設置した。 <p><かまぼこ通り地区、銀座・竹の花地区></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小田原かまぼこ通り活性化協議会と公民連携のもと、地区内にある資産(歴史的建造物、空き家・空き店舗など)を活用しながら新たなまちの賑わい・交流の場を創出していくため、空き家・空き店舗の見学ツアー等を企画したが、新型コロナウイルスの影響により、延期となった。 			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
<p><板橋・南町地区></p> <p>○板橋・南町地区の歴史・文化勉強会参加者からの情報提供</p> <p>小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の策定に向けた歴史調査として、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律運用指針に基づき、歴史的風致にまつわる50年以上前の写真や文献などの情報提供を頂いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>昭和29年の居神社社例大祭(写真) 十字歴史・文化勉強会より提供</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>昭和25年頃の小田原用水(写真) 大窪歴史・文化勉強会より提供</p> </div> </div> <p><かまぼこ通り地区></p> <p>○(公財)東日本鉄道文化財団の支援による万祝の作製</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>完成お披露目式典 令和2年1月19日開催</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作製した万祝</p> </div> </div>			

評価軸③-20
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
なりわい交流館活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 なりわい交流館において、小田原の地場産業の情報発信や生涯学習等の各種イベントの会場として、市民や観光客が交流する場を提供することにより、本市の歴史と伝統への認識を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

開館から18年が経過し、誰でも立ち寄れるお休み処として、また、観光客の回遊拠点として定着している。
 ・来館者数：平成30年度 43,756人 令和元年度 38,720人
 ・自主事業の開催：平成30年度 1回開催 来場者数92人 令和元年度 1回開催 参加者数5人
 ・イベント会場の利用回数：平成30年度 104回 令和元年度 86回

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○小田原宿なりわい交流館機能

観光案内や休憩のために立ち寄っていただき、建物自体の持つ古い旅籠の雰囲気や、展示物の生業(なりわい)に関する資料に触れて頂くことにより、歴史と伝統への認識を高めている。



<1階> 観光案内・お休み処



<2階> イベントスペース



施設外観

○地場産品のPRとおもてなし機能の強化

(1)ポケットウの導入
 開始月：令和元年5月
 内容：なりわい交流館におけるインバウンド対策の一環として、50ヶ国語対応の通訳システムを導入。



地場飲料の販売(4種類)

(2)地場飲料の提供
 内容：地場産品の魅力発信や来館者へのおもてなし及びなりわい交流館の付加価値向上による来館者の増加を図るため、平成30年度から梅の風の提供を開始。令和元年度から3種類(湘南ゴールドエナジー、片浦レモンサイダー、おひるねみかん)追加し、計4種類の地場飲料の販売を行っている。

(3)自主事業(てくてく小田原まち歩き)の開催
 実施日：令和元年11月2日
 内容：なりわい交流館を起点としたまちあるき
 目的：かまぼこ通り・旧東海道小田原宿の認知度を高め、当該地域の観光集客力を高めることで賑わい創出を図る。



てくてくまち歩きの様子

○管理運営に係る事業者選定

令和2年度の管理運営に係る事業者については、適切かつ独創性を持って管理運営が行われるよう、公募型プロポーザルにより選定した。

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	中世より続く小田原漆器などの伝統的工芸品を担う事業者団体の活動を支援し、担い手の育成や伝統技術の継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業については、従事者・後継者育成事業、販路開拓事業があり、担い手の育成や伝統技術の継承に寄与するため、助成を行った。			
【定量的評価】			
助成件数(寄木・漆器)			
平成23年度:2件、平成24年度:2件、平成25年度:2件、平成26年度:2件、平成27年度:1件、平成28年度:1件 平成29年度:1件、平成30年度:1件、令和元年度:1件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○組合による従事者・後継者育成事業 寄木製品の試作研修 令和元年9月9日、11日、13日、17日、19日の5日間、延べ61人参加 手道具類の実技研修 令和元年9月26日、10月3日、7日、9日、11日の5日間、延べ62人参加			
			
○組合による販路開拓事業 伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示(通年) HAKONEIRO2019(芦ノ湖キャンプ村) 寄木コースター作り体験によるPR(令和元年10月5日・6日) かながわ物産展はだのマルシェ(秦野市文化会館) 寄木コースター作り体験によるPR(令和元年10月20日) 第36回伝統的工芸品月間国民会議全国大会(岩手産業文化センターアピオ) 参加(令和元年11月3日～5日)			
			
HAKONEIRO2019(芦ノ湖キャンプ村) 寄木コースター作り体験			

評価軸③-22

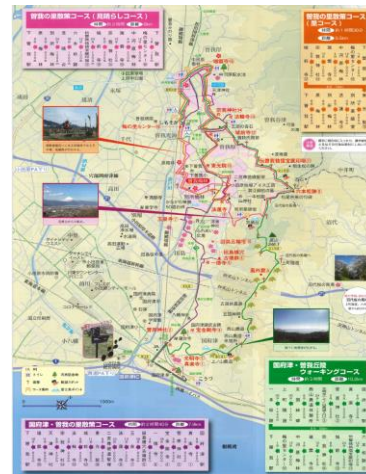
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
小田原散策マップ等作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみ・施設等の分布、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成・配布することにより、点在する歴史的資源における回遊が促進され、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会が増え、愛着を育むことにより、歴史的な生業や活動の活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・ウォーキングタウンおだわら散策マップは、東部版、中央版、西部版の3種類あり、令和元年度は東部版を30,000部発行し、令和2年1月から、本市観光課執務室、梅の里センター、小田原駅観光案内所、小田原市観光協会、小田原城天守閣、小田原城二の丸観光案内所、その他(地元商店等)で配布を行っている。 ・発行に向け、案内板等の整備に合わせた記載内容等の確認・更新を実施した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	毎年、ウォーキングコースに設置した道標や案内板などの設置状況を調査した上で、散策マップの作成に当たっている。		
状況を示す写真や資料等			

○おだわら散策マップの全体エリア



○おだわら散策マップ東部版



評価軸③-23 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
レンタサイクル事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	レンタサイクルの利便性を高めることにより、旧城下やその周辺に点在する歴史的資源をより容易に巡ることができとなり、市民や来街者が歴史的風致に触れる機会を増やし、歴史的な生業や活動の活性化を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・平成27年12月に小田原駅東口駐車場の一角に貸出所を開設した。 ・平成30年7月には歴史見聞館の貸出所を閉鎖したが、令和元年10月5日から新たに早川臨時観光案内所と同時に貸出所を開設した。 ・梅まつり開催期間に合わせ、平成28年度から梅の里センター内に臨時貸出所をオープンしている。 【貸出実績】(城:小田原城歴史見聞館、駅:小田原駅東口駐車場、早:早川臨時観光案内所、梅:梅まつり臨時貸出所) 平成24年度:1,786台(城のみ) 平成25年度:1,768台(城のみ) 平成26年度:2,091台(城のみ) 平成27年度:2,554台(城:1,864台、駅:690台) ※H27.12小田原駅東口駐車場内に拠点を増設 平成28年度:4,113台(城:1,109台、駅:2,930台、梅:74台) 平成29年度:4,205台(城:920台、駅3,195台、梅:90台) 平成30年度:3,148台(城286台、駅2,790台、梅:72台) 令和元年度:2,233台(駅:2,085台、早:57台、梅:91台) ※なお、小田原駅東口駐車場は3月3日から、早川臨時観光案内所は3月7日から休止			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
○レンタサイクル「ぐるりん小田原」のチラシ <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			
○早川臨時観光案内所 貸出所 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>			

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
民俗芸能保存支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致を構成する民俗芸能は、中心市街地の若年層の減少により、次世代の担い手不足が懸念されているため、保存活動団体の担い手育成や普及啓発などの取り組みを支援することにより、民俗芸能の継承を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原民俗芸能保存協会は、市内に残る民俗芸能団体により構成され、民俗芸能の保護・育成に努め、毎年秋に協会構成団体が一堂に会し、日頃の練習成果を発表する後継者育成発表会を開催し後継者の育成を図っている。
- ・令和元年度は、11月10日(日)に小田原市民会館で開催。(参加団体数:7団体)
- ・ハルネギャラリーにおいて、「伝えよう!小田原の民俗芸能展」を実施して、民俗芸能のPRを行った。(9月28日～11月29日)
- ・「山王原大漁木遣唄のワークショップ」を開催し、おだわら市民学校受講者ら約50名が参加し、木遣り唄を体験するとともに、その成果を発表。
- ・団体間の相互交流の場とし、市民や次世代を担う子どもたちへ民俗芸能の普及啓発を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



開会式



山王原大漁木遣唄



小田原祭囃子連絡協議会



小田原ちようちん踊り保存会



曾我別所寿獅子舞保存会



小田原囃子多古保存会



根府川寺山神社鹿島踊保存会



ワークショップの発表



相模人形芝居下中座



令和元年度
小田原民俗芸能保存協会
後継者育成発表会



ハルネギャラリー
小田原の民俗芸能の紹介
(令和元年9月28日
～11月29日)



後継者育成発表会チラシ

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和元年度
		現在の状況	
無形民俗文化財記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～令和2年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域の伝統文化伝承への意識を高め、無形文化財等の担い手育成などを促進するため、無形民俗文化財の実態調査や現在における詳細な記録を作成し、後世に確実に継承を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>・市内の多くの地域で行われている祭礼のうち「鹿島踊」について、平成29年度から継続し、鹿島踊が披露される祭礼の取材等を行った。令和元年度は、「根府川寺山神社」、「米神正八幡神社」、休止している「江之浦大美和神社」にて取材等を行っており、それぞれの取材結果の記録を作成し、後世への継承を図っている。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等



根府川寺山神社祭礼(鹿島踊) 令和元年7月14日



江之浦大美和神社祭礼 令和元年7月14日



米神正八幡神社祭礼(鹿島踊練習) 令和元年5月14日

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
文化財の総合的把握・育成支援事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 文化財を総合的に把握する仕組みを構築することで、文化財の効果的な活用を図り、また、保存・活用に携わる団体・個人を育成する取組を支援していき、全市において歴史まちづくりの推進を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・市内の文化財を総合的に把握する作業の一環として、石造物を記録し後世に残す取組を進めた。
 ・平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理会が市民ボランティアにより発足され、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在は、石造物調査会25名、古写真整理会13名がボランティアとして参加している。
 ・令和元年度の取組として、石造物調査会では小田原市早川地区を調査し、馬頭観音や記念碑など約100個の石造物を確認し、調査進捗状況及び調査報告書(城山地区西部)を市ホームページにて公開した。
 ・古写真整理会では郷土文化館で収蔵している昭和期の小田原市街地写真130点を整理し、市ホームページに公開した。今後も調査・整理し、順次公開していく。
 ・このほか地域に残る文化財(地域資源)として史跡等を小田原市地理情報システム(Navi-o)にて、位置情報、名称、簡易な説明を掲載した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施にあたり、調査手法や会の運営方法など参加者と協議しながら、持続可能な形態を模索している。また、さまざまな文化財について把握する必要があり、ボランティアによる調査活動を広げていくため、ボランティアによる調査活動として比較的容易な祭礼調査などについては検討していく。

状況を示す写真や資料等



石造物について地域住民への聞き取り調査
(令和元年11月5日)



石造物調査ボランティアによる調査の様子
(採寸作業記録作業、平成31年4月20日)



古写真整理ボランティアによる調査の様子
(撮影位置特定作業、令和元年7月9日)



ボランティアによる調査の様子
(古写真確認作業、令和元年8月6日)

評価軸③-27

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
伝統行事・伝統文化啓発事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和2年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 伝統文化については、普及啓発に係るイベントの開催やパンフレットの制作により、人々の伝統文化への意識を高め、担い手の発掘、育成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・小田原市民文化祭における伝統文化発表会等(日本舞踊公演、いけばな諸流展など)を開催。(開催期間:令和元年9月23日～12月22日)
- ・市内各小学校で伝統文化のアウトリーチ事業(和太鼓)を実施。(開催日:令和元年9月25日実施、10月8日、10月25日、11月20日)
- ・伝統芸能(能楽)ワークショップを開催した。
- ・伝統芸能(日本舞踊)セミナー・ワークショップ・公演を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

○小田原市民文化祭



チラシ

○小学校での伝統文化のアウトリーチ事業



和太鼓4校
(令和元年9月25日実施、10月8日、
10月25日、11月20日)
参加者数:1,352人

○伝統芸能(能楽)ワークショップ



能楽ワークショップ
(令和2年2月15日開催)
参加者数:5人



公演チラシ

○伝統芸能(日本舞踊)セミナー・ワークショップ・公演



文化セミナー
「おだわらと日本舞踊のこれから」
(令和元年6月30日)
参加者数:47人



ワークショップ
「親子で入門! “日本舞踊”ってなに! ?」
(令和元年7月27日)
参加者数:48人



ワークショップ
「弧の会と踊ろう!」
(令和元年8月29日～31日)
参加者数:14人

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	
職人育成研修等推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 地方創生推進交付金・市単独事業

計画に記載している内容 法人等と連携し、歴史的建造物の調査・実態把握と職人育成研修(調査・整備・改修等を兼ねた実践型研修)を進め、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を図る。
また、歴史的建造物の改修・整備、活用等を促進するための相談対応等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託により、旧松本剛吉別邸修復計画策定、茶室蹲(つくばい)復元、正面扉袖壁改修、旧岸田邸板塀復元、かまぼこ通り修景整備の実習を行った。
・建物の歴史的な価値評価、日常の維持管理、改修・整備等に関する相談に対し、助言を行った。

【定量的評価】

平成29年度 職人育成研修の実施件数 4件(参加者数 58人) 相談の受付数(調査・修理相談等) 7件
 平成30年度 職人育成研修の実施件数 4件(参加者数 48人) 相談の受付数(調査・修理相談等) 8件
 令和元年度 職人育成研修の実施件数 4件(参加者数 61人) 相談の受付数(調査・修理相談等) 3件

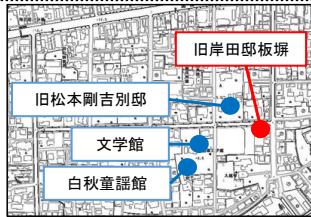
進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 職人の育成による伝統工法の技術継承に加え、受講者を含む関係者により、公有・民有の歴史的建造物の維持保全を担う専門的組織の編成を目指す。

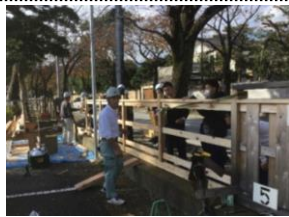
状況を示す写真や資料等

○旧岸田邸板塀(西海子小路)の修復実習(平成28年度から継続、令和元年度で板塀すべての修復が完了)

受講者: 神奈川県立小田原城北工業高等学校建設科木工班(32名)
 指導: 小田原大工職組合員、南足柄大工職組合員



位置図



研修中



修復後

○旧松本剛吉別邸の正面門袖壁修景(光付技法を用いた木質化)実習

受講者: 神奈川県立小田原城北工業高等学校建設科木工班(32名)
 指導: 小田原大工職組合員、南足柄大工職組合員



研修中



修復後

○旧松本剛吉別邸の構造調査、耐震診断、修復計画策定実習

受講者: 大工職組合員(8名)
 指導: おだわら名工舎理事

○旧松本剛吉別邸の蹲(つくばい)復元実習

受講者: 庭師(3名)
 指導(監督): おだわら名工舎理事



修復計画策定のための調査

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財の指定		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 重点区域内には、国指定史跡である史跡小田原城跡をはじめとする多くの指定文化財が存在しており、本市の歴史的風致の維持向上のため、関連法令等に基づき保護措置を講じて、保存・活用を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原市中里遺跡から出土した弥生時代の土器など、計141点の考古資料が神奈川県指定重要文化財に指定された(指定年月日:令和元年9月17日)。遺跡見学会、講演会等により、市民への周知を行った。
 ・令和2年度に数件程度の市指定文化財を新規指定するための準備を進めている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○神奈川県指定重要文化財 小田原市中里遺跡の弥生時代中期出土品



○最新出土品展での市民への周知(令和元年11月8日～12月1日)



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理(整備を含む)及び防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の修理及び整備にあたっては、文化財の価値を損なうことなく適切な保存を図る必要があるため、詳細な調査を行い、履歴に基づいた修理及び整備を実施する。
 日常から文化財の防災に対する意識を向上させるため、所有者・管理者・地域住民・消防が一体となった防災訓練を定期的実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

<文化財の修理(整備含む)>
 ・引き続き、史跡小田原城跡御用米曲輪において、修景整備工事を実施した。
 ・国・県・市指定文化財の修理に対する補助事業について、令和元年度は8件実施した。
 <文化財の防災>
 ・令和元年10月末の沖縄県首里城火災を受け、臨時で、防火点検を実施した。
 ・「文化財防火デー」にあわせ、消防と連携し、消防訓練や設備点検・防火指導を実施した。
 ・文化財所有者を対象に、設備点検や防火指導や広報誌等で防火意識の向上に向けた啓発活動を実施した。
 ・首里城火災を受けて、文化財所有者リストを再確認するとともに、所有者に「文化財建造物の防火・防犯対策チェックリスト」を送付し、自己点検を行い、火気管理の徹底をするよう注意喚起した。
 <文化財の防犯>
 ・史跡小田原城跡については、臨時職員による定期的な見廻り(週1回)とあわせ、除草・清掃活動を実施した。
 ・個人や法人が所有する文化財については、所有者からの年1回の管理状況に関する報告にあわせ、日常の点検・監視について推奨した。

進捗状況 ※計画年次との対応

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

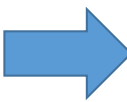
状況を示す写真や資料等

<文化財の修理(整備を含む)>

○文化財の修理



勝福寺本堂の装飾の塗装(施工前)



勝福寺本堂の装飾の塗装(施工後)

<文化財の防災>

○消防訓練



小田原城天守閣
(令和2年1月24日)

○設備点検・防火指導



玉宝寺(五百羅漢)
(令和2年1月24日)

評価軸④-3
文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の保存・活用の普及及び啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容 文化財を積極的に公開することにより、誰もが気軽に歴史的風致に触れることができる環境づくりを推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・「文化財公開事業」として、埋蔵文化財の出土品展や遺跡調査発表会、遺跡見学会、文化財建造物や寺社に保存されている指定文化財の公開等の事業を開催した。
- ・文化財について、次世代を担う子どもたちが興味・関心を持つ身近な学習機会とするため、「文化財公開事業」を校長会で取り上げてもらうとともに、小中学校へチラシ等を配布した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○文化財公開事業



最新出土品展チラシ(小中学校へも配布)



最新出土品展
(令和元年11月8日～12月1日)



遺跡調査発表会
(令和元年11月23日)



遺跡講演会
(令和元年11月9日開催)

○歴史的建造物・文化財 春の見学会(令和元年5月29日)



老樺荘
(板橋)

○文化財建造物観覧会(令和元年12月1日)



古稀庵
(板橋)



旧松本剛吉別邸
(南町)



静山荘
(南町)

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和元年度
	年月日	掲載紙等
早雲公五百年忌シンポ 小田原北条氏とその城郭	平成31年4月19日	神静民報
小田原城NINJA館 ファン来場、「風魔」を発信	平成31年4月21日	神静民報
歴史的建造物の利活用 プロポーザルで事業者選定	令和元年5月16日	神静民報
「センゴク権兵衛」原画展 作者協力で小田原で	令和元年7月11日	朝日新聞
豊島邸 本ときどきカフェ	令和元年8月20日	神静民報
神奈川小田原 NINJA館 おでかけスポット	令和元年10月11日	日本経済新聞
大正期の別邸で新年ことほぐ茶	令和2年1月17日	神奈川新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・「早雲公五百年忌シンポジウム」、「小田原城NINJA館」、「歴史的建造物利活用計画策定業務事業者選定プロポーザル」、小田原城天守閣で開催した「センゴク権兵衛」原画展、豊島邸を活用した社会実験「本ときどきカフェ」について、報道された。
 ・イベント開催時には、行政側から積極的な情報提供をすることで各種メディアからの報道により、市民等への周知につながり、本市の歴史に関する取組について、関心を高めることが出来た。

【定量的評価】

小田原市が、各種メディア(映画・テレビ・CMなど)に取り上げられた件数 ※()内は依頼・相談のあった件数
 H23:100件(233件)、H24:74件(155件)、H25:70件(144件)、H26:85件(168件)、H27:101件(179件)、
 H28:94件(171件)、H29:73件(121件)、H30:120件(167件)、R1:106件(143件)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



令和元年7月11日 朝日新聞



令和元年8月20日 神静民報



令和元年10月11日 日本経済新聞

小田原市 歴史的建造物の利活用 プロポーザルで事業者選定

小田原市は、歴史的建造物の利活用を促進するため、市内の歴史的建造物について、事業者を選定するプロポーザルを実施した。対象となるのは、市内の歴史的建造物である「小田原城天守閣」(重要文化財)、「小田原城本丸」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)などである。プロポーザルは、令和元年5月16日から開始し、6月10日まで実施された。応募は、市内の事業者から多く寄せられた。選定された事業者は、令和元年10月11日に発表される予定である。

小田原市は、歴史的建造物の利活用を促進するため、市内の歴史的建造物について、事業者を選定するプロポーザルを実施した。対象となるのは、市内の歴史的建造物である「小田原城天守閣」(重要文化財)、「小田原城本丸」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)などである。プロポーザルは、令和元年5月16日から開始し、6月10日まで実施された。応募は、市内の事業者から多く寄せられた。選定された事業者は、令和元年10月11日に発表される予定である。

小田原市は、歴史的建造物の利活用を促進するため、市内の歴史的建造物について、事業者を選定するプロポーザルを実施した。対象となるのは、市内の歴史的建造物である「小田原城天守閣」(重要文化財)、「小田原城本丸」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)、「小田原城本丸御膳所」(重要文化財)などである。プロポーザルは、令和元年5月16日から開始し、6月10日まで実施された。応募は、市内の事業者から多く寄せられた。選定された事業者は、令和元年10月11日に発表される予定である。

令和元年5月16日 神静民報

評価軸⑥-1
その他

評価対象年度 令和元年度

項目

小田原城天守閣の魅力向上

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・平成28年5月のリニューアル後からの天守閣入場者数が平成29年7月5日に累計100万人を達成した。
【小田原城天守閣入場者数】平成30年度 603,318人 令和元年度 580,019人
- ・小田原城や周辺施設を活用した誘客対策の実施。
「小田原没後五百年」天守閣特別展を開催した。(令和元年7月6日～9月8日)
関連シンポジウム「北条氏とその城郭」及び特別講演会「伊勢宗瑞～漫画家と歴史家が語る北条早雲～」を開催した。
(参加者数:約500人)
- ・歴史見聞館については、耐震改修工事及び展示物等リニューアル事業が完了し、小田原城NINJA館として平成31年4月20日にオープンした。
- ・小田原城誘客プロジェクトの取組みとして、デザインマンホール蓋設置事業(モデル事業)に伴い、小田原にゆかりの深い北条早雲と風魔小太郎をモチーフにしたデザインマンホール蓋を小田原駅から小田原城に向かうルート上に設置した。
(令和2年3月27日)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

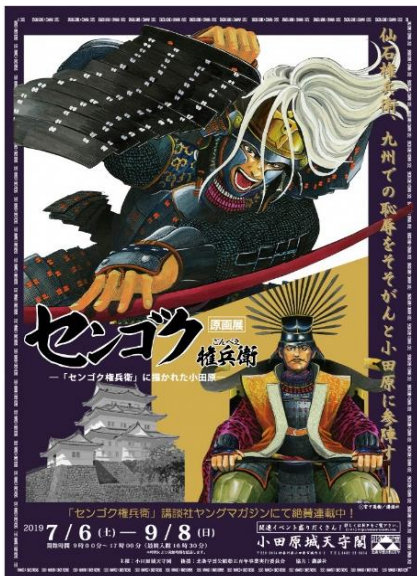
状況を示す写真や資料等



小田原城NINJA館
(歴史見聞館/平成31年4月20日リニューアルオープン)



特別講演会
「伊勢宗瑞～漫画家と歴史家が語る北条早雲～」
(令和元年9月1日)



「小田原没後五百年」天守閣特別展
(令和元年7月6日～9月8日)



デザインマンホール蓋設置事業(モデル事業)
(令和2年3月27日)

評価軸⑥-2
その他(効果等)

	評価対象年度	令和元年度
項目	現在の状況	

観光まちあるき事業(まち歩きアプリの開発等)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------------------	---

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○まち歩きアプリの開発
 ・平成29年4月から観光客の回遊性や利便性の向上を図るために、観光用まち歩きアプリを開発し、配信を開始した。
 ・アプリのダウンロード数は、これまでに、延べ36,692件を記録している。
【定量的評価】
 ダウンロード数 平成29年度:9,477件 平成30年度:9,172件 令和元年度:7,713件

○誘客ガイドの実施
 ・NPO法人小田原ガイド協会やNPO法人小田原まちづくり応援団などの市民団体が中心となり、誘客ガイドや企画・予約ガイドなどによりまち歩きツアーを実施している。
【定量的評価】
 無料ガイド(誘客ガイド) 平成29年度:1,425件(9,082人) 平成30年度:1,985件(9,818人)
 令和元年度:1,902件(9,088人)
 有料ガイド(予約ガイド) 平成29年度:621件(20,703人) 平成30年度:524件(21,019人)
 令和元年度:416件(13,889人) ※2月29日から休止

○小田原かまぼこ通り活性化協議会により、「てくてく小田原まち歩き」が実施された。
 ○早川臨時観光案内所開設
 ・令和元年10月5日に、早川駅に「早川臨時観光案内所」を新たに開設し、早川地区等のまちあるき案内について強化することができた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり
計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○まち歩きアプリ



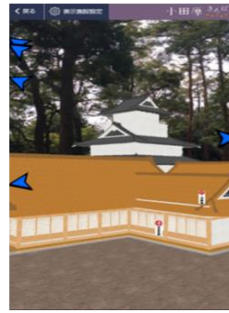
パンフレット



ロゴマーク



アプリ(トップ画面)



アプリ(3DCG)
 ※石垣山一夜城の
 仮想空間体験

案内板(ARポイント)
 の設置



○早川臨時観光案内所



評価軸⑥-3
その他(効果等)

評価対象年度 | 令和元年度

項目

木づかいのまちの取組(小田原産木材の活用など)

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- ・「木づかいのまち」をコンセプトに小田原産木材の利用拡大を推進している。
- ・木育事業について、東京おもちゃ美術館との「ウッドスタート宣言」に伴い、誕生祝い品を配付した。
令和元年度 誕生祝い品の配付数:399セット
- ・わたしの木づかいパイロット事業として、市内小学校10校で地域産ヒノキの箸作りを行った。
令和元年度 箸作り体験児童数:726名
- ・「学校木の空間づくりモデル事業」として、酒匂小学校の内装の木質化改修を実施した。
- ・引き続き公共建築物における木材の利用促進に努めた。
(「小田原市公共建築物における木材の利用の促進に関する方針」有)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



誕生祝い品
(「ひのきかたかた」と「かまぼこくるま」セット)



わたしの木づかいパイロット事業
(ヒノキの箸)



学校木の空間づくりモデル事業
(酒匂小学校内装木質化)



評価軸⑥-4
その他(効果等)

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目
歴史的風致に関する意識啓発

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 歴史まちづくり研修(市職員向け)の実施
 - ・新採用職員研修プログラム「体験学習」の一つとして講義とまち歩きを実施した。講義テーマは「歴史的建造物の保全から活用へ」。まち歩きは、板橋・南町周辺地区を対象に、NPO法人小田原まちづくり応援団が案内を行った。
 - ・また、まち歩き研修では、新採用職員が魅力を感じたスポット等を撮影し、その写真を本市の公式インスタグラムに投稿することで、本市の歴史の魅力をPRに繋げた。
 - ・講義とまち歩きの取組により、新採用職員の歴史的風致に対する理解と関心を高め、歴史まちづくりに必要な人材の育成を図っていく。
- 歴史まちづくりカード(通称:歴まちカード)の発行
 - ・関東甲信地方において、国と連携し歴まち計画認定都市の魅力をPRするため、歴まちカードを作成した。平成30年8月から配布を開始し、市民や観光客に対して本市の歴史的風致を広くPRしている。
 - ・なお、配布場所は、小田原城天守閣・松永記念館・なりわい交流館・小田原文学館・おだわら市民交流センター UMECO(レンタサイクル受付)の5箇所となっている。
- 【定量的評価】
 - 平成30年度 配布枚数 3,322枚(集計期間:平成30年8月23日～平成31年3月31日)
 - 令和元年度 配布枚数 7,970枚
- 民間団体による小学校への歴史参考書の配布
 - ・民間プロジェクトにより市内全小学校へ「おだわら学習帳」(小学4年生)、「おだわらぬりえ」(小学1年生)を配布した。
 - ・配布対象に合わせた分かりやすい内容となっており、歴史的風致の内容も含まれ、初等教育における周知を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○歴史まちづくり研修



NPO法人小田原まちづくり応援団による案内
(令和元年5月30日)
参加者数:23人(新採用職員)



本市の歴史に係る都市セールスプレゼンの様子
(実施場所:清閑亭)



Instagramに投稿した
小田原用水の写真
(撮影者:新採用職員)

評価軸⑥-5
その他(効果等)

評価対象年度 令和元年度

項目

歴史まちづくりの効果

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることで、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着が深まるだけでなく、歴史的建造物や伝統文化の継承、人々の交流人口の拡大、観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 入込観光客数及び施設入館者数の増加 ※詳細は下記を参照。
 - ・令和元年度の施設入館者数については、昨年度と比較して、全ての施設の入館者数が減少している。
 - ・史跡小田原城跡のシンボルである小田原城天守閣の入館者数は、平成28年度をピークに減少傾向であるものの、平成27年度のリニューアルオープン前と比較すると増加している。
 - ・歴史的風致形成建造物である松永記念館、清閑亭、小田原文学館は、松永記念館及び小田原文学館の入館者数が横ばいで推移する中、清閑亭の入館者数の減少に影響され、3館合計の入館者数は減少している。
 - ・市有だけでなく民有の歴史的風致形成建造物(旧内野醤油店)について、所有者の協力による定期的な一般公開により一定の来館者数を獲得している。(詳細は、p.19参照)
- 県内自治体間、認定都市間での連携強化
 - ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施 ・歴史的景観都市協議会への参加
 - ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など
- 計画に位置付けた事業数の変化
 - ・本計画が浸透し、事業が増加し、歴史まちづくりが推進されている。
 - 平成23年度:21 平成24年度:21 平成25年度:21 平成26年度:21 平成27年度:22
 - 平成28年度:22 平成29年度:26 平成30年度:28 令和元年度:28
- 歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数の変化
 - ・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)に位置付けていくことで、本市内に残る歴史的建造物の保全・活用が推進されている。
 - 平成23年度:20 平成24年度:19 平成25年度:19 平成26年度:19 平成27年度:20
 - 平成28年度:20 平成29年度:21 平成30年度:23 令和元年度:23
- 歴史的建造物の民間利活用に向けた取組
 - ・豊島邸については、民間事業者の利活用に向けた公募を行い、2件の提案があったため、公募要領に定める審査を実施した結果、小田急電鉄株式会社に決定し、令和2年1月20日に基本協定を締結した。
 - 併せて、公共施設としての安全性を確保し、利用者が安心して利用できる施設とするため、耐震等改修工事を実施した。
- 歴史的建造物利活用計画策定業務について
 - ・平成30年度に策定した歴史的建造物利活用エリアコーディネートプランに基づき、民有物件を含む7件の歴史的建造物、及び関連性の高い公有地(空地)の計8件について、民間事業者への利活用を促進し、維持管理に係る経費を削減していくための運営・管理に係る具体的な事業スキーム案を盛り込んだ歴史的建造物利活用計画を策定した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

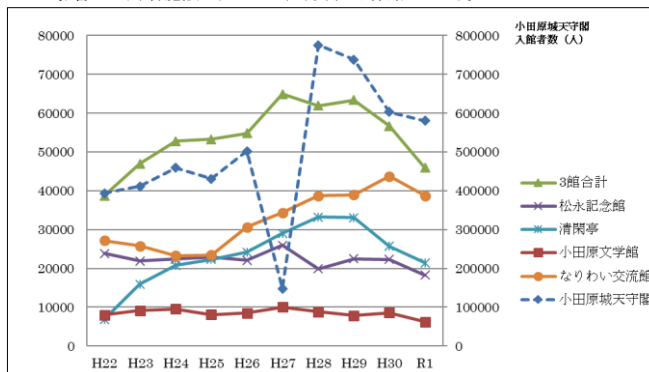
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設入館者数の増加

指標	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
入込観光客数(人)	5,040,000	4,246,000	4,370,000	4,650,000	4,514,000	4,538,000	5,943,000	6,114,772	6,182,240	6,248,464
小田原城天守閣入館者数(人)	393,995	411,240	459,548	430,475	502,330	148,325	775,406	738,086	603,318	580,019
松永記念館	23,829	21,901	22,388	22,905	22,086	25,918	19,878	22,461	22,342	18,319
清閑亭	6,884	15,969	20,777	22,324	24,190	29,007	33,201	33,102	25,712	21,421
小田原文学館(本館・別館)	8,046	9,121	9,578	8,068	8,501	10,012	8,834	7,823	8,585	6,249
3館合計(人)	38,759	46,991	52,743	53,297	54,777	64,937	61,913	63,386	56,639	45,989
旧内野醤油店	-	-	1,211	1,510	1,244	1,397	978	899	780	192
旧松本剛吉別邸	-	-	-	-	-	-	7,005	9,538	6,070	5,601
小田原宿なりわい交流館	27,189	25,807	23,266	23,473	30,626	34,339	38,701	39,001	43,756	38,720
菴春荘	-	-	-	-	-	-	-	-	2,322	1,890

※入込観光客数については、暦年(1月1日～12月31日)の集計値となる。
 ※小田原城天守閣入館者数(人)において、耐震改修工事による休館の為、H27(平成27年4月～6月)、H28(平成28年5月～12月)の集計値となる。
 ※新型コロナウイルスの影響により、各施設においては、3月頃から休館している。



小田原城天守閣入館者数と歴史的風致形成建造物3館の入館者数

評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和元年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時: 令和2年2月3日 午前10時から	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 小田原宿なりわい交流館も含め、これまでの歴史的風致形成建造物は、小田原市歴史的風致維持向上計画の153ページのとおり、歴史的風致形成建造物の指定対象「⑥その他、本市の歴史的風致の形成に寄与するものとして特に市長が認める建造物。」として、指定されている。今後は、歴史的風致形成建造物の指定対象①から⑤のいずれかに指定できると、尚よいと思うので、新たな指定も視野に取組を進められるとよい。</p> <p>(2) 清閑亭は、床やふすまの傷みが激しくなっていることから、誘客を図らず入館者を年間3万人に抑制しており、ほかの歴史的建造物も同様の状況にあると考える。上記を踏まえたオーバーツーリズムの観点から、施設入館者数の適正水準を考慮し、複数の施設を回遊する総合的な客数でみるべきである。</p> <p>(3) 最終評価シートについては、シンポジウムや20～50名程度のワークショップの開催など、住民を巻き込む取組があるとよい。また、住民評価については、市内において歴史的風致の維持及び向上に資する活動を行っている団体の代表者が本協議会の委員となっているので、各団体の意見を取りまとめ、事務局に提出するなど、団体としての意見があれば、よりよくなると思う。</p> <p>(4) 相模人形芝居については、現在の歴史調査の結果では、50年以上の歴史を有する活動はあるが、活動の場として50年以上続く建造物はなく、地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律運用指針の要件を満たしていないため、歴史的風致の位置付けが難しいということか。</p> <p>(5) 第2期計画への位置付けを検討している歴史的風致を構成する建造物として、建物だけでなく山縣水道や石丁場、橋、土塀、井戸などの工作物も対象になると思われるので、検討してほしい。また、「別邸と別邸文化に由来する茶道にみる歴史的風致」について、山縣有朋などお茶が嫌いである有名な人物もいるため、「別邸文化にみる歴史的風致」として検討できないか。</p> <p>(6) おだわら名工舎の相談件数が増加しており、歴史的風致維持向上支援法人の指定に向け、機が熟しつつあるのではないかと。小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の課題の1つとして取り上げてもよいと思う。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 小田原宿なりわい交流館も含め、これまでの歴史的風致形成建造物は、国登録有形文化財等の歴史的風致形成建造物の指定対象①～⑤のいずれかに指定できるように検討を進めていきたい。</p> <p>(2) 複数の歴史的建造物を回遊する総合的な客数を評価対象とすることを検討していく。</p> <p>(3) 最終評価シートについては、本協議会の委員が所属する団体(NPO法人ガイド協会、NPO法人小田原まちづくり応援団、小田原民俗芸能保存協会、街かど博物館館長連絡協議会)をはじめ、松原神社・居神社・大稲荷神社やかまぼこ通り活性化協議会など、6つの歴史的風致に関連する団体等にヒアリングやアンケートの実施を検討しており、多角的に評価をしたいと考えている。住民を巻き込む取組については、他市事例を参考にしながら、シンポジウムやワークショップの開催などを検討していく。</p> <p>(4) 相模人形芝居については、歴史的風致の要件として、建造物及び活動に50年以上の歴史を有することが国から求められており、50年以上の建造物がないところではあるが、国には位置付ける方向性で調整していく。また、歴史の概要や曾我集落と梅栽培にみる歴史的風致などの関連事項で取り上げていくことを検討していく。</p> <p>(5) 第2期計画に位置付ける歴史的風致を構成する建造物として、工作物も含め検討を進めていきたい。また、「別邸と別邸文化に由来する茶道にみる歴史的風致」については、歴史的風致の構成を見直し、検討していく。</p> <p>(6) おだわら名工舎の歴史的風致維持向上支援法人の指定については、小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の課題と捉えており、他市事例の調査・研究を開始した。</p>	